

ヨークの城壁

ヨーロッパには、周囲を城壁で囲まれた都市が多い。例えば、ブランデンブルク (Brandenburg) やフライブルク (Freiburg)、フランスのストラズブール (Strasbourg, ドイツ語ではシュトラスブルク (Straßburg)) のように、-burg という語尾を持つ都市の名を聞いたことがある方は多いだろう。ドイツ語のブルク (Burg) は中世の城砦から転じて、都市や町という意味であり、ドイツ語のビュルガー (Bürger) やフランス語のブルジョワ (bourgeois) は、そこに住む都市民のことを指す。英語に目を転じれば、古英語の **burgess** は、自治都市の市民という意味である。

北イングランドのノースヨークシャー州に属するヨークも、城壁で囲まれた、中世の面影を色濃く残す都市として、イギリス国内で人気のある観光地の 1 つである。今も残る要塞や城壁は、古代ローマ帝国によって征服されて、紀元 70 年前後に都市が形成されて以来、支配者が代わる度に破壊と再構築が繰り返されてきた歴史を今に伝えている。12~14 世紀に構築されたこの城壁は、現在でもほぼ原型をとどめており、全長は約 3km である。冒頭で述べた通り、歴史的にはこの壁に囲まれた区域で都市が形成されてきた。そのような経緯から、城壁の内側にはヨーク・ミンスター (York Minster, 大聖堂)、クリフォーズ・タワー (Clifford's Tower, ヘンリー3 世 (1202-1272、在位 : 1216-1272) が築いた砦) といった歴史的な建造物が多く残されており、中心部を貫くようにウーズ川が流れている。都市防衛にとって重要な役割を果たしてきた城壁そのものも、今では観光名所として一般に開放されており、上を歩くことができる。

ロンドンからヨークまで、北に向かう長距離列車に 2 時間ほど乗り、駅を出るとすぐに城壁が目に入る。近くの門から階段を昇り、この上を歩くとヨークの中心部を一望することができる。この町を訪れた際には、歴史的な建造物である壁の上から景色を眺め、古代から続く歴史に思いを巡らせるのも良い。



城壁から見た市街地の景色 (左) /

写真中央部に見えるのがヨーク・ミンスター。



ミンスターの横にあるコンスタンティヌス大王の像 (右)